

兵庫県立明石高等学校創立 100 周年記念事業

明石高校・明石市立天文科学館天体観望会

星を見る会

日 時 令和5年7月28日(金)

18:30~20:00 終了予定

場 所 明石高校

- 内容 ① 子午線の歴史などの説明(明石高校生徒が説明します) 明石高校講堂
② 今日の星空の説明(天文科学館スタッフが説明します)
③ 天体観望 本校サブグラウンドから星を見よう!

【参加対象】 小学生(3~6年生)と中学生 100名
*小学生はかならず保護者が同伴してください。

【参加費】 無料

【申込方法】 右の QR コードを読み取って
スマホなどから申込みしてください。

6月20日(火)より申込受付開始

受付終了は7月14日(金)

※ ただし、定員に達した場合、期日前でも受付終了します。

いっしょに星を
見ませんか?



申込こちら↑

明石市立天文科学館・明石高校による天体観望会

「星を見る会」令和 5 年 7 月 28 日(金)18:30～

【参加について】※かならずお読みください。

- ご来校の際には必ず公共交通機関利用または徒歩でお越しください。
- 小学生の参加は保護者同伴をお願いします。
- 当日 16 時に明石市に暴風または大雨洪水警報が発令されている場合は中止にします。学校 HP でお知らせしますので、ご確認ください。
- 雨天時は、学校講堂にて説明のみ実施します。
- 屋外では虫刺され等が懸念されますので、各自で虫よけスプレーなどの対策をお願いします。
- 暑さ対策としてタオル・飲み物等ご持参ください。
- 懐中電灯を各自ご用意ください。

問い合わせ

県立明石高等学校 教頭 青木

TEL 078-911-4376

昭和 3 年の天体測量 ～明石の子午線の歴史～

昭和 3 年（1928 年）に、明石市教育委員会は県立明石中学校の山内佐太郎校長の熱心な提唱により、昭和天皇御大典記念事業として、子午線標識を正確な位置に建て替えることを計画しました。

そして京都大学の地球物理学教室の野満隆治博士に子午線通過地の決定を委嘱しました。

このとき、野満博士は、日本子午線の標識は天体測量にもとづき天文学経度により建てるべきであるとの考えを示しました。

天体測量は同年 7 月下旬から約 1 か月間、明石中学校（現在の県立明石高等学校）の校庭で、野満博士のほか、京都大学地球物理学科の豊原儀一、服部達吉、竹下藤七郎、松永義明の 4 学士が実施しました。

その際に使用されたのが、明石市立天文科学館に所蔵されている「ザルトリウス子午儀」（市指定文化財）です。また、明石高校サブグラウンド付近にその子午儀が設置された土台が残っています。